

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月30日
北アルプス地域振興局

提出区分		実績				
整理番号		2		課題区分 A		
実施機関		北アルプス地域振興局農地整備課、北アルプス農業改良普及センター		担当課	所属	北アルプス農業改良普及センター
事業名		クレソン特産品化モデル事業			電話	0261-23-6544
				E-mail	kita-aec@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	中山間地域の地域資源である豊富な清水を活かした特産物として、実需者から生食やパスタソース原料として要望が高く、軽量かつ栽培が容易なクレソンの栽培実証ほ場を設置し、実需者と連携して栽培方法・出荷形態・流通方法等の実証を行い、高齢者及び移住者が取り組める地域振興のモデルとする。				
	現状と課題	<p>【栽培状況】大北地区農業振興推進協議会で検討開始。小谷村現地ほ場1カ所にて試験栽培を開始(平成29年6月～10月)小谷村内4カ所で約1aの試験栽培を継続(平成30年5月～11月)、他に白馬村生産者が栽培意向がある(1戸)。池田町南部に1a程度の新規ほ場を10aに拡大する意向がある(1戸)</p> <p>課題:・栽培技術方法の実証と確立。・出荷方法の検討(出荷形態と流通手段)。・小谷村生産組合及び大北地域内の栽培研究会組織による生産体制と情報交換</p> <p>【販売】平成30年10月大北産農産物等販路拡大研究会開催、(株)久世に紹介。12月(株)サンクゼールとの情報交換会。1月、3月(株)久世との情報交換会を行った。生食用、加工品(ソース、ジュース、ドレッシング)として需要があり、商品取引の可能性はある。</p> <p>課題:業務用食品産業実需者(株)久世等)及び、地域内需要者への提供。一定数量と品質を確保をした上で、輸送手段とそのコストを検討する必要がある。</p>				
	内容 (変更後の内容)	<p>1 モデルほ場団地の設置</p> <p>ア ほ場の改修(小谷村北小谷李平地区、6a程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月～5月、取水口や排水口の資材費及び重機燃料費等のを購入し、生産者による自主施工を行った。 イ 出荷先を見定めた作型の検証、経済性調査(収量調査等) ・実証ほでの収穫期間は8月中旬から収穫可能となり、本格的な出荷は9月から12月まで行った。1戸当たり推定収穫数量は約300kgが見込まれ、出荷数量は約100kg、販売金額は約14万円となった。 ・現地栽培検討会は、6月と9月に行った。 <p>2 販路開拓</p> <p>ア 販売先((株)久世及び、地元ホテル)との商談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おたりクレソン振興研究会が4月に発足 ・(株)久世に8月にサンプル出荷した後、9月から12月まで毎週木曜日を中心に2.5kgずつ出荷した。 ・(株)久世との情報交換を現地で6月に行った後、随時、産地情報を提供した。 ・地元ホテル(白馬村)にも9月以降随時納入することができた。 <p>イ 出荷体系・流通コストの検討(青果物又は、加工業務用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)久世フレッシュ・ワン(豊洲市場)あてに宅急便と地元業者による輸送を検討した結果、地元業者に委託しコストの削減を図る見通しができた。 				
	事業期間	平成31年4月1日		～	2020年3月	
成果目標 (成果指標)	2019年度末までに出荷体系を構築する					
(単位:円)						
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	モデルほ場団地の改修	用水路改修・畦畔補強の資材費及び重機燃料費等	220,370	需用費		
	役務費	収穫物サンプルを宅配便を利用して試験的に出荷する	24,300	(株)久世あてに3回(5月、8月、10月)×4050円×2カ所		
	旅費	実需者との情報交換	24,100	東京都内1名×1回		
	旅費	実需者との情報交換	30,120	東京都内2名×1回		
	合計			298,890		

	事業実績	事業の成果	評価
事業実績成果	<p>1 モデルほ場団地の設置 1カ所(小谷村北小谷李平地区、6a程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証ほでの1畝当たり推定収穫数量は約300kgが見込まれ、出荷数量は約100kgとなった。 <p>2 販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)久世フレッシュ・ワン(豊洲市場)あて、地元業者に委託し(株)久世に9月から12月まで毎週木曜日を中心に2.5kgずつ出荷した。 ・地元ホテル(白馬村)にも9月以降随時納入することができた。 	<p>中山間地域の地域資源である豊富な清水を活かした特産物として、生産販売ができ農家所得の確保につながる見通しがついた。</p>	<p><input type="radio"/> 期待以上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 期待どおり</p> <p><input type="radio"/> やや下回る</p> <p><input type="radio"/> 期待以下</p>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培上の作型を確立する。 ・生産数量と販売先の確保。 		